

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2000-76620(P2000-76620A)

【公開日】平成12年3月14日(2000.3.14)

【出願番号】特願平10-243942

【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 5/31

G 1 1 B 5/39

【F I】

G 1 1 B 5/31 D

G 1 1 B 5/31 C

G 1 1 B 5/31 K

G 1 1 B 5/39

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月26日(2004.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

磁気的に連結され、且つ記録媒体に対向する側の一部が記録ギャップ層を介して対向する第1の磁極および第2の磁極を含む少なくとも2つの磁性層と、磁束を発生させるための1層あるいは2層以上の薄膜コイルとを有する薄膜磁気ヘッドであって、

第1の磁性層と、

この第1の磁性層と分割して形成されると共に、前記記録ギャップ層との隣接面の反対側の面が、前記第1の磁性層の一部領域に磁気的に結合された第1の磁極と、

無機系材料により形成されると共に、少なくとも前記第1の磁極の前記記録媒体に対向する側の反対面から前記第1の磁性層の一方の面に連続的に形成された絶縁層と、

前記記録ギャップ層を介して前記第1の磁極に対向すると共に、前記記録媒体に対向する面から奥側に向けて前記第1の磁極よりも長く形成された第2の磁極と、

この第2の磁極と分割して形成されると共に、前記第2の磁極の前記記録ギャップ面との隣接面の反対側の面の少なくとも一部において前記第2の磁極に磁気的に結合された第2の磁性層と

を備えたことを特徴とする薄膜磁気ヘッド。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

【課題を解決するための手段】

本発明による薄膜磁気ヘッドは、磁気的に連結され、且つ記録媒体に対向する側の一部が記録ギャップ層を介して対向する第1の磁極および第2の磁極を含む少なくとも2つの磁性層と、磁束を発生させるための1層あるいは2層以上の薄膜コイルとを有する薄膜磁気ヘッドであって、第1の磁性層と、この第1の磁性層と分割して形成されると共に、記録ギャップ層との隣接面の反対側の面が、第1の磁性層の一部領域に磁気的に結合された

第1の磁極と、無機系材料により形成されると共に、少なくとも第1の磁極の記録媒体に対向する側の反対面から第1の磁性層の一方の面に連続的に形成された絶縁層と、記録ギャップ層を介して第1の磁極に対向すると共に、記録媒体に対向する面から奥側に向けて第1の磁極よりも長く形成された第2の磁極と、この第2の磁極と分割して形成されると共に、第2の磁極の記録ギャップ面との隣接面の反対側の面の少なくとも一部において第2の磁極に磁気的に結合された第2の磁性層とを備えた構成を有している。